

科目名	職業指導	科目コード	1271	単位数	2
担当者名	大友 秀人	開講セメスター	第6セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

●授業のねらい

高等学校卒業後、実社会に出て働く生徒に何をどのように指導・援助すべきか、教師としての、その基本的な役割を確認し、指導・援助内容を吟味する。昨今、職種も増加・拡大し、自己の能力・適性、興味・関心に合った職業を選択することが難しいことと併せて、経済不況の中で就職の条件も難しい状況にある。そんな中でも、自らのあり方・生き方を考え、主体的に職業選択ができるような進路指導のあり方を学ぶ。

●到達目標

授業を受ける学生が、進路に対しての正しい知識とスキルを習得し、社会の中で活用できるようになること。

●授業内容

- 1週目 職業指導の意義と内容
- 2週目 職業指導・進路指導の定義の系譜（調査・発表）
- 3週目 職業選択に関する諸理論（特性・因子理論、意思決定理論、社会的学習理論）
- 4週目 職業選択に関する諸理論（経済学的・社会的、マッチング理論）
- 5週目 職業的発達理論（キンズバーグ、スーパーのキャリア類型）（調査・発表）
- 6週目 職業指導・進路指導の方法・原理（背景、理論）（調査・発表）
- 7週目 進路指導主事の役割と責任
- 8週目 年少労働者の保護（生徒の就労と保護、労働条件とその基準）
- 9週目 教師の法律問題（法的地位と役割、守秘義務、身元保証と責任）
- 10週目 生徒理解を深め自己理解を得させる活動（心理・興味検査）
- 11週目 啓発的経験を得させる活動（意義、機会）（調査・発表）
- 12週目 進路に関する情報を得させる活動（職業概念、職業常識と職業情報）
- 13週目 進路相談の機会を与える活動（性質、相談員、計画と準備）
- 14週目 就職・進学に関する指導援助の活動（レポート作成）
- 15週目 追指導（追指導の意義、時期と方法、結果の整理と活用）
- 16週目 課題へのフィードバック（但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行う）

●準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習は、テキストの事前学習を行うとともに、指示による予習課題に取り組むこと（60分程度）。復習は、毎時間行う小テストでできなかったところを振り返り、自分の考えをノートにまとめておくこと（60分程度）。また、日頃から、職業指導の知見で判断できるように興味・関心を払うこと。

●成績評価の方法・基準

成績評価は、授業態度、毎時間の課題・小テスト、レポート作成や調査・発表などにより、総合的に判断する。

●履修上の留意点

授業では、対話のある授業でシェアリング（振り返り）を行い、単に知識の量を増やすことより、思考方法を獲得することを目的とする。それ故、授業中、受け身的にならず、積極的に参加することを望む。

●課題に対するフィードバックの方法

テストやレポートの返却しながら、自らが今後の課題に気づけるようなフィードバックを個別に行う。

●テキスト

その都度資料配布

●参考書

高橋哲夫編著『生徒指導の研究 第3版』（教育出版）¥2,000 + 税
 國分康孝監修『実践サイコエジュケーション』（図書文化）¥2,500 + 税

●更新日付

2022/03/01 03:11